



MEDIA LINKS®
Pixel Perfect Delivery

2015年3月期 決算説明会

株式会社メディアグローバルリンクス
2015年5月11日

MEDIA LINKS®

本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化、研究開発の進捗、競合状況等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合もありますことをご承知おきください。

数値表記について

本資料中の数値表記は、すべて原則として、表示単位の下位1桁で四捨五入しております。そのため、決算短信等他の開示資料の数値と最終桁数値が異なる場合があります。

アジェンダ

1. 2015年3月期 決算報告
2. 2016年3月期 業績見通し

MEDIA LINKS[®]

1. 2015年3月期 決算報告

MEDIA LINKS®

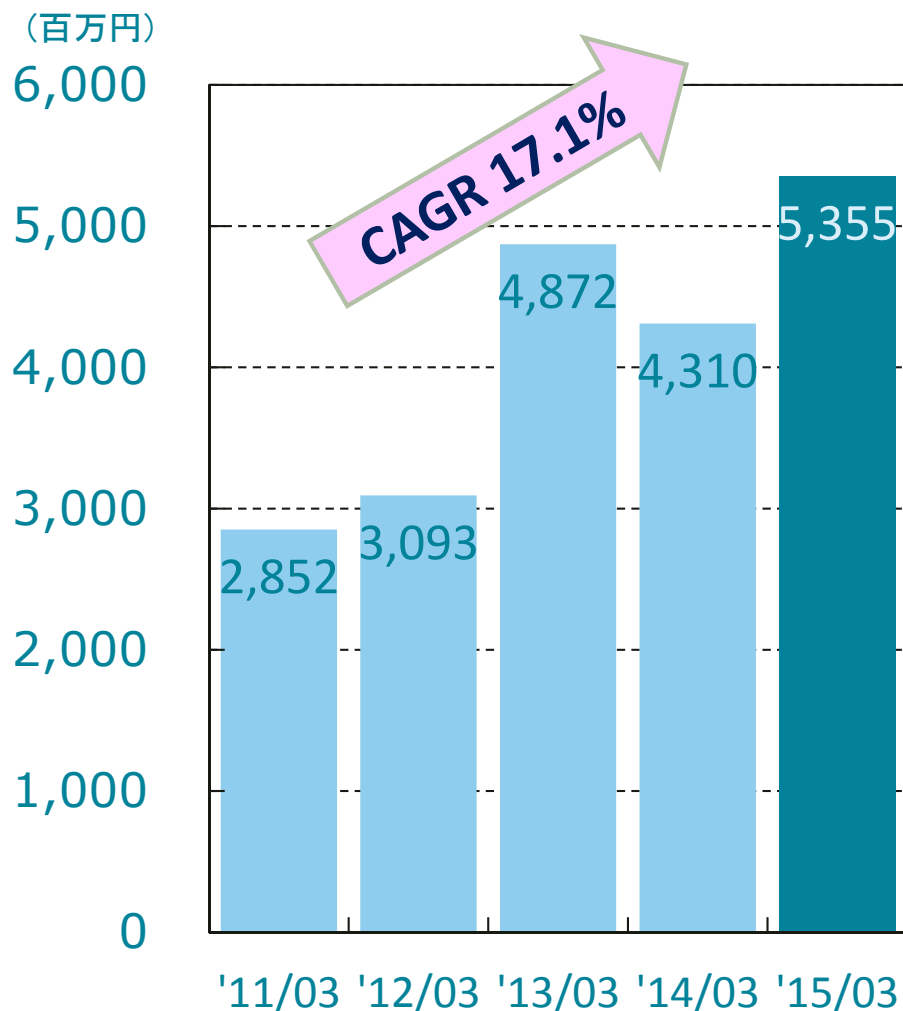
2015年3月期連結業績ハイライト

(百万円)

	期初予想	修正予想 (2014年10月)	実績	期初予想比		修正予想比		前年同期比	
				絶対値	比率	絶対値	比率	絶対値	比率
売上高	4,860	5,050	5,355	+495	+10%	+305	+6%	+1,045	+24%
売上総利益	2,955	2,985	3,221	+266	+9%	+236	+8%	+983	+44%
販管費	2,505	2,510	2,720	+215	+9%	+210	+8%	+784	+40%
営業利益	450	475	501	+51	+11%	+26	+5%	+199	+66%
経常利益	435	495	538	+103	+24%	+43	+9%	+166	+45%
当期純利益	350	400	531	+181	+52%	+131	+33%	+211	+66%

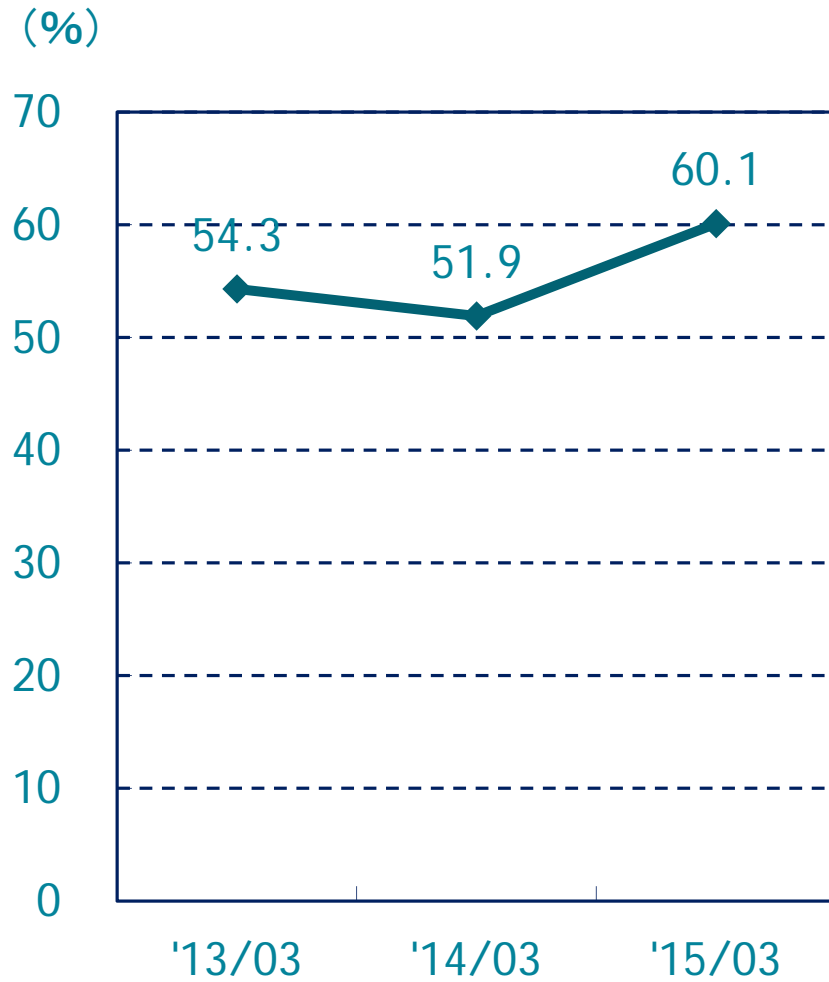
- 売上高、利益とも2014年10月の修正予想を上回った
- 前年同期比でも大幅増加
- 海外事業が引き続き大きく貢献
- 円安の影響がプラスに

連結売上高推移



- 連結売上高 5,355百万円
 - 過去最高を更新
 - 前期比1,045百万円(24%)増加
- 海外売上比率 78%
 - 前年の74%から上昇
 - 北米とオーストラリアが牽引
- ハードウェア売上比率 83%
 - 前年の79%から上昇
- '11/03-'15/03年平均成長率 (CAGR) +17.1%

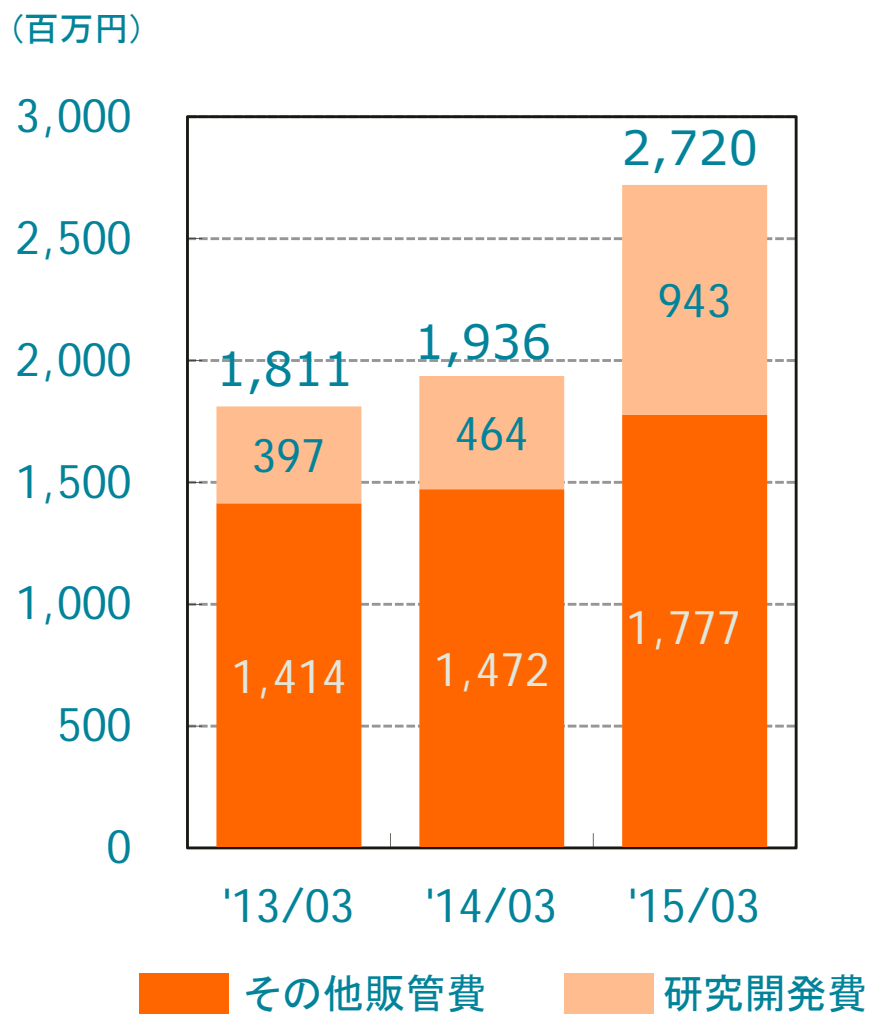
売上総利益率



■ 売上総利益率

- プロダクトミックスの改善
- 円安効果

販売費および一般管理費

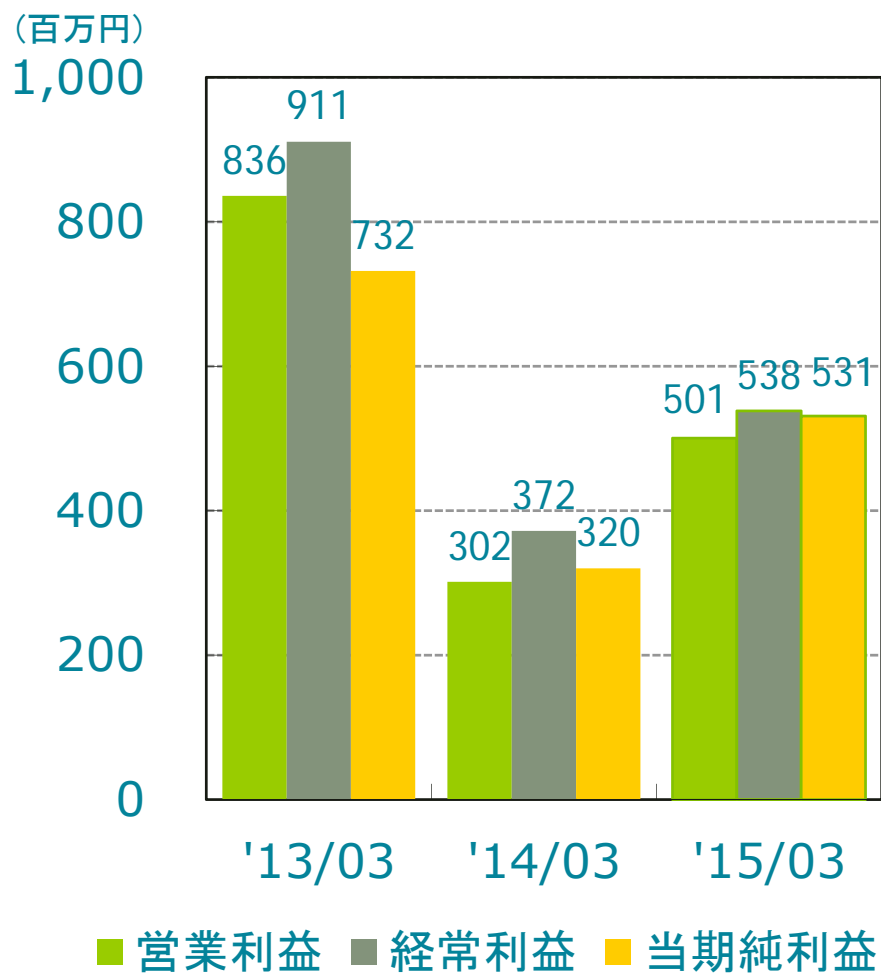


- 販管費 前期比 +40%
- 研究開発費 前期比 +103%
 - 売上高研究開発費比率 18%
- 期末人員数 前期末比 +4名
 - 国内 -5名
 - 海外 +9名

(連結)

2013年3月末	80名
2014年3月末	88名
2015年3月末	92名

連結営業利益/経常利益/当期純利益



営業外損益

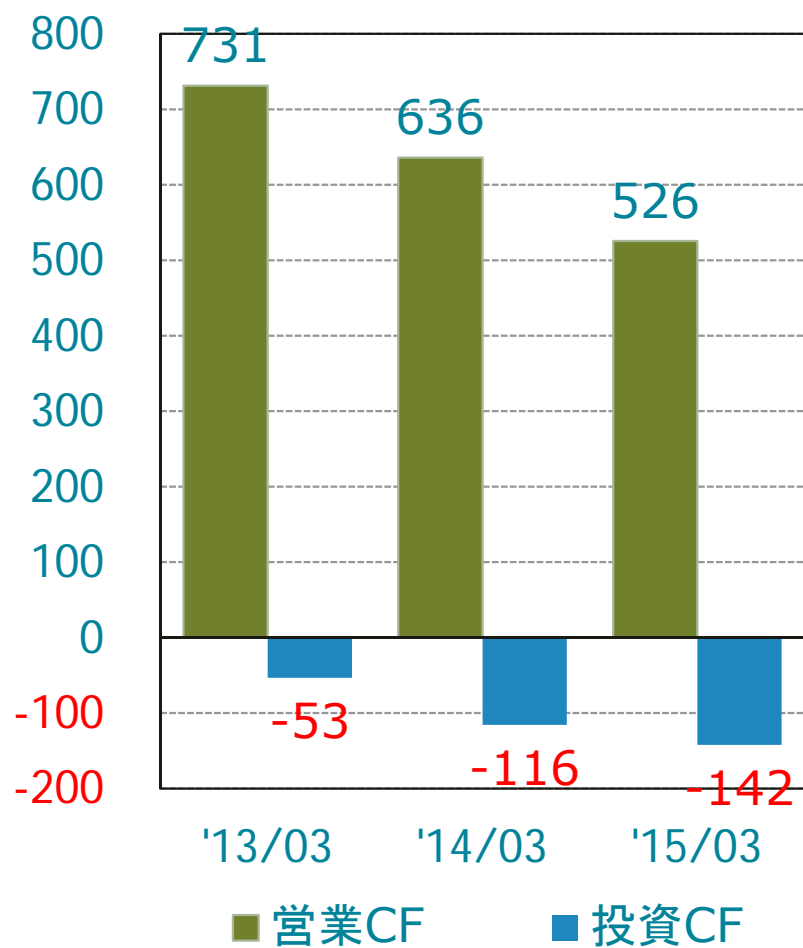
- 為替差益 53百万円
(前期は84百万円)

- 法人税等調整額 Δ 87百万円
(前期は 4百万円)

税効果会計による繰延税金資産の計上

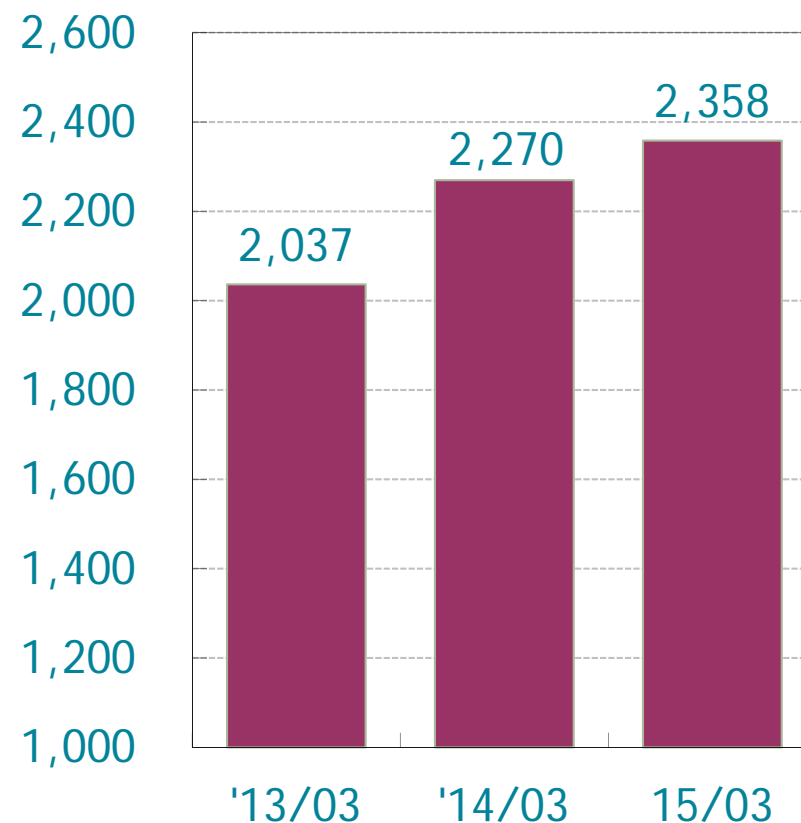
キャッシュフロー

(百万円)



現金および同等物

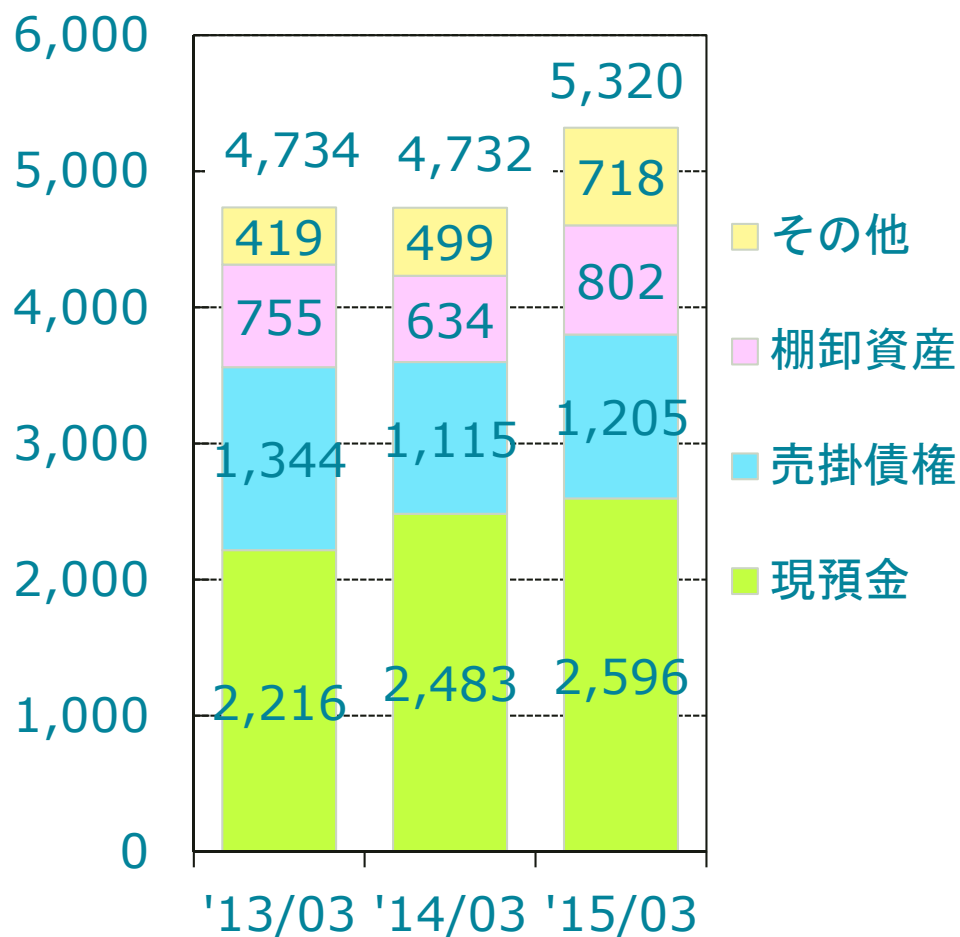
(百万円)



貸借対照表

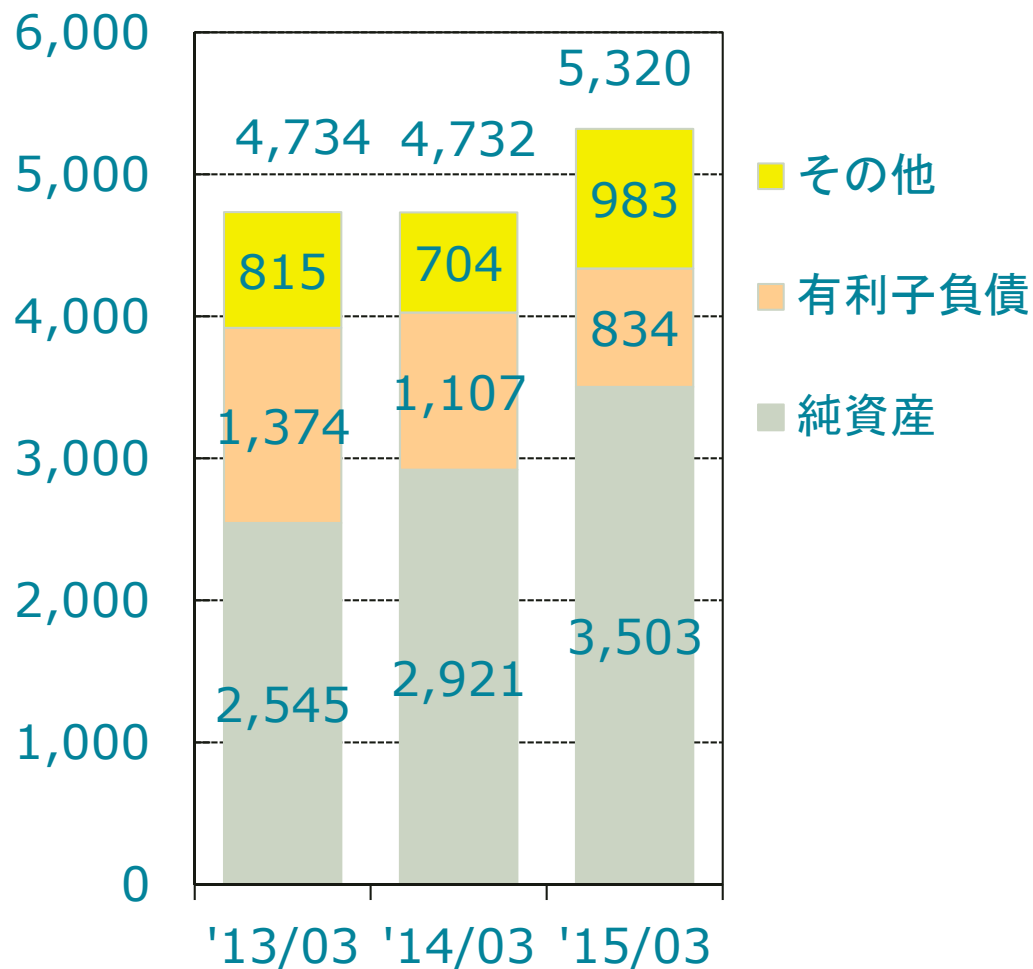
■ 資産

(百万円)



■ 負債および純資産

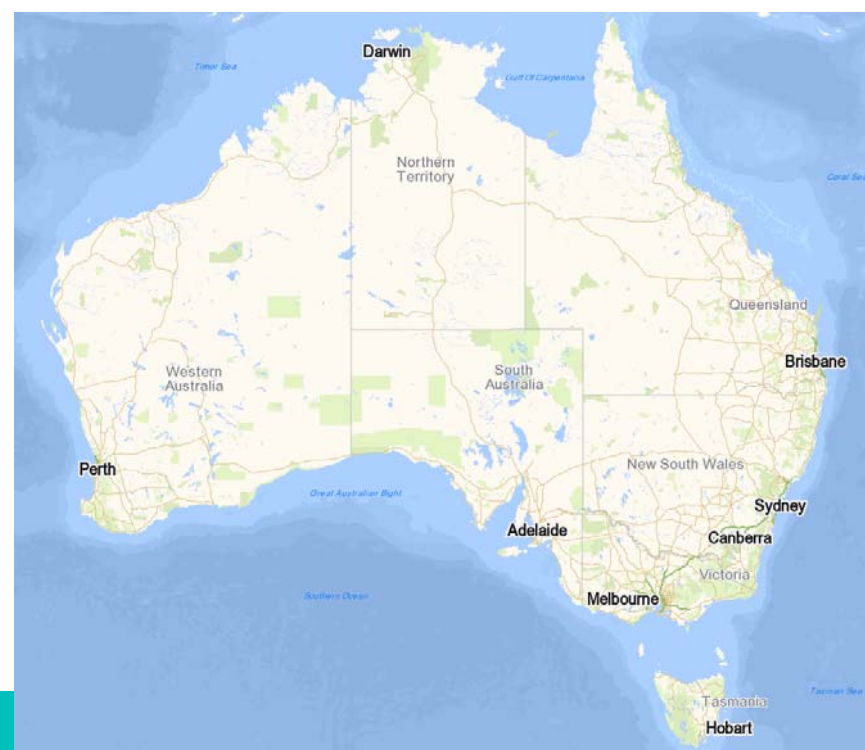
(百万円)



オーストラリア

次世代放送用ネットワーク 2012年出荷開始以来継続展開中

- プロジェクトは順調に進展。オーストラリア全土のテレビ放送用インフラとして稼働中
- 追加オーダーが堅調で、計画比増加
 - メトロネットワーク(中距離、短距離)需要が増加
 - 競馬放送局等への採用拡大
- 2015年も継続見込



北米

2010年以來、北米の放送用ネットワークの中核装置を継続納入

- 5年目も順調に継続、計画比増加
- 顧客ビジネスの拡大に伴って、当社装置の販売も伸びる
- プロスポーツ用ネットワークで採用拡大



日本/アジア 単発案件が主体

■ 日本

- ケーブルTV局の設備更新案件が活発
- 4Kをにらんだ放送局内回線システムのIP化案件の商談・引合が増加

■ 韓国

- 競合の顧客を奪い新規ビジネス拡大
- 仁川アジア大会の採用は、2018年平昌冬季五輪へつなげる
- 2014年に予定していた放送局ネットワーク案件は2015年に延期

2. 2016年3月期 業績見通し

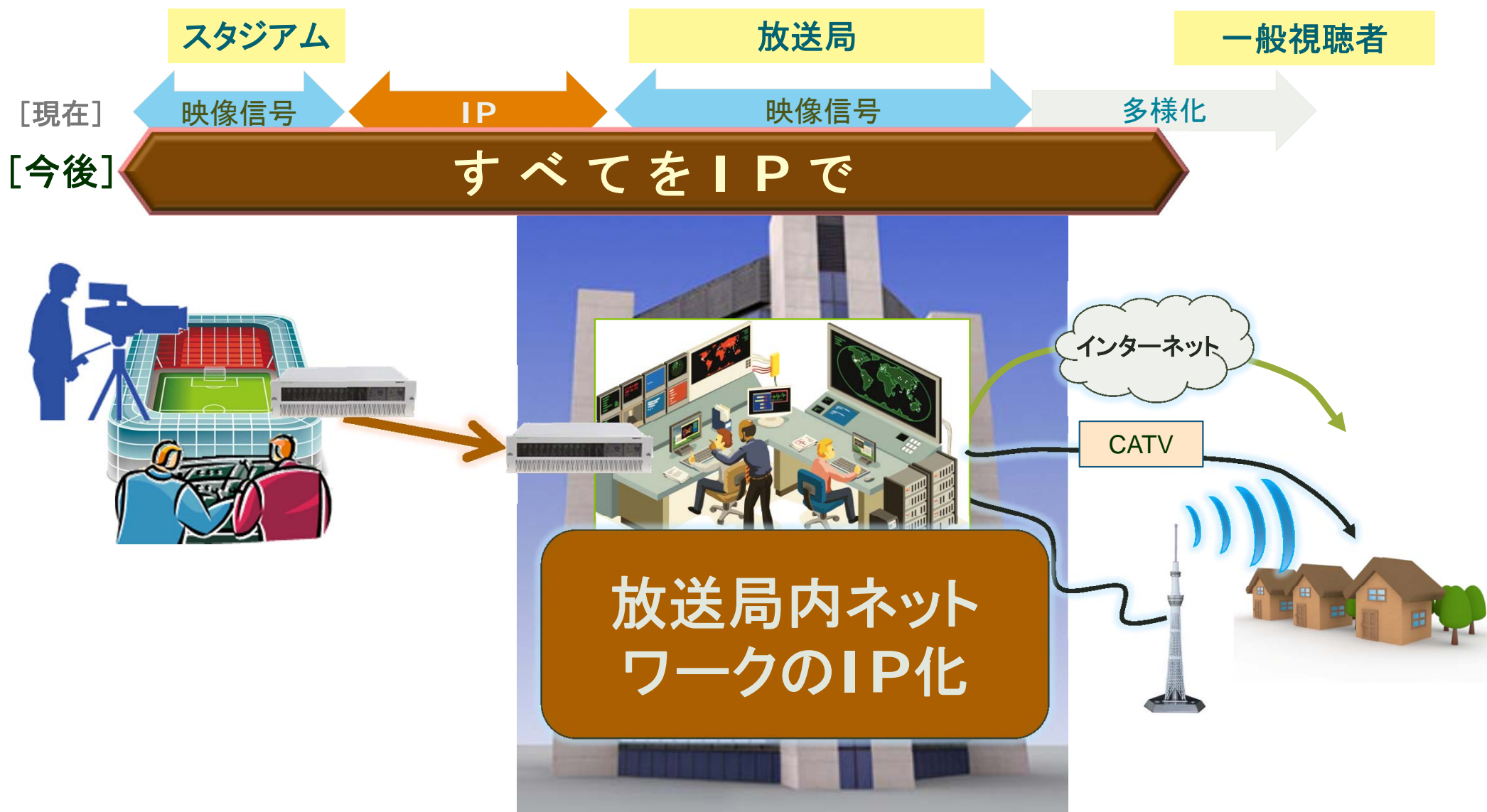
MEDIA LINKS®

業界動向

放送用ネットワークのIP化

- 当社が主導して制定された放送用IP伝送の国際標準規格の認知度が向上
- 4K・8Kの超高精細映像の伝送は、従来の方式では困難であり、IP伝送のニーズが一気に高まる
- ニーズの高まりを感じた競合が新規参入してきており、ユーザーにとって選択肢が広がることで、市場の拡大が加速
- IP化によって、放送映像コンテンツ制作ワークフロー全体に変革をもたらす

IP化は「映像伝送」から「放送ワークフロー」に拡大



市場動向

放送用ネットワークの市場

- 北米市場は巨大。未開拓分野がまだ残されており、成長余地は大きい
 - プロスポーツやカレッジスポーツも大きな市場
 - 世界最大の映像エンタテインメント産業の存在
- 欧州および中近東市場は北米に次ぐ規模だが、ドイツ以外は市場参入できていない
 - スポーツ分野から参入
- 日本では、短期的にはケーブルTV局ネットワークの需要獲得。さらに、来期以降の業績につなげるための放送局内ネットワークのIP化プロジェクトの商談の具体化が進む
- アジア太平洋地域は、オーストラリアと韓国で市場を押さえた。全体として市場は未成熟なので、3-4年後を見据える

2016年3月期の課題

競争力を一段と強化し、市場拡大のチャンスをつかむ

1. 競争力のある新製品開発への重点投資

- 新市場・新顧客層への戦略製品の開発
- 効率的な開発体制の構築

2. 新顧客層に向けてのマーケティング活動の強化

- 発信力の強化
- メディア戦略

2016年3月期は、市場の主導権を握るための戦い
2017年3月期以降、具体的案件の実現

2016年3月期業績予想

(百万円)

	上半期 (予想)	下半期 (予想)	2016/03期 (予想)	前期比	
売上高	2,400	3,300	5,700	345	+6%
売上総利益	1,550	2,010	3,560	339	+11%
販管費	1,660	1,500	3,160	440	+16%
営業利益	-110	510	400	-101	-20%
経常利益	-115	505	390	-148	-28%
当期純利益 [※]	-130	430	300	-231	-44%

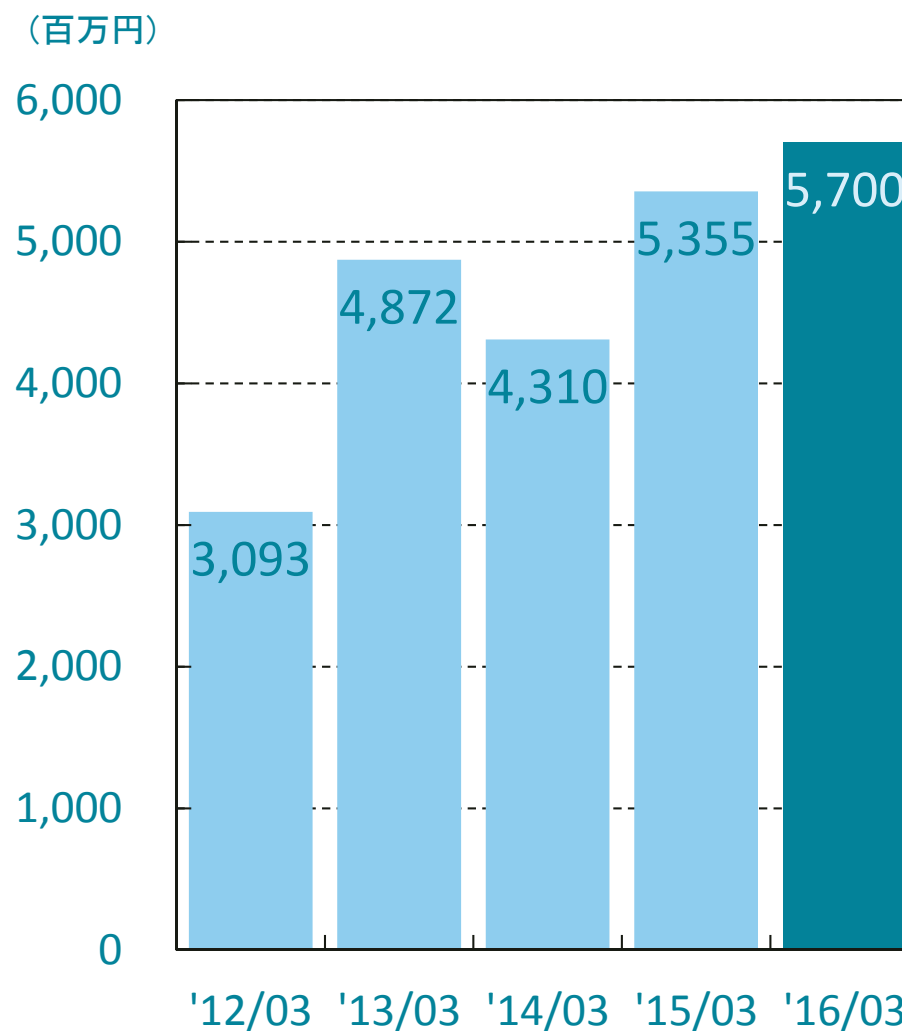
※ 親会社株主に帰属する当期純利益

* 想定為替レート: ¥ 115/US\$

連結売上高

■ 連結売上計画

- 前年比6%増加
- オーストラリアと北米はほぼ現状水準を維持
- 日本を含むアジアは拡大



連結営業利益/経常利益/当期純利益

(百万円)

■ 製品競争力は変わらず、粗利益率は高水準

■ 売上高総利益率

'14/03期(実績) 52%

'15/03期(実績) 60%

'16/03期(計画) 62%

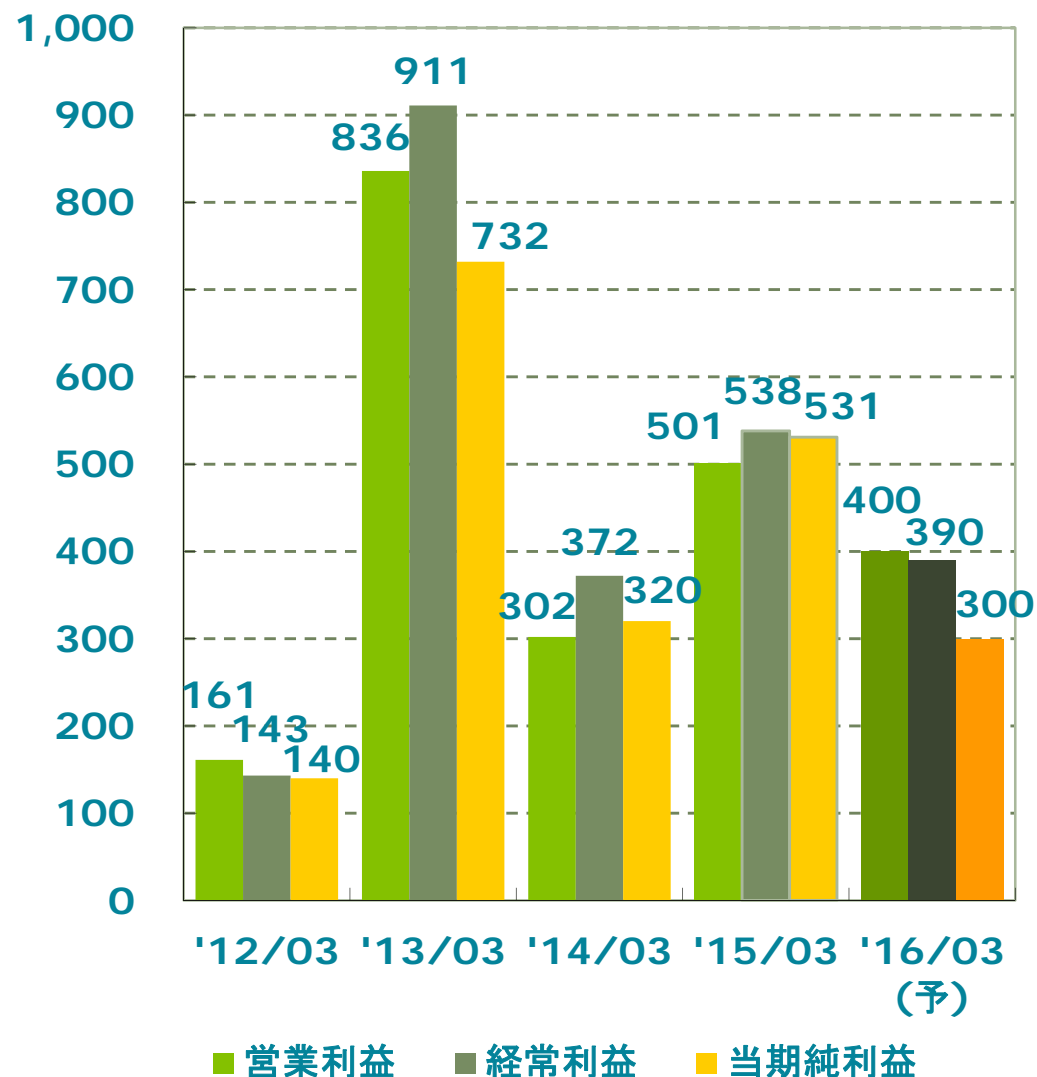
■ 研究開発費の増加

■ 売上高研究開発費率

'14/03期(実績) 11%

'15/03期(実績) 18%

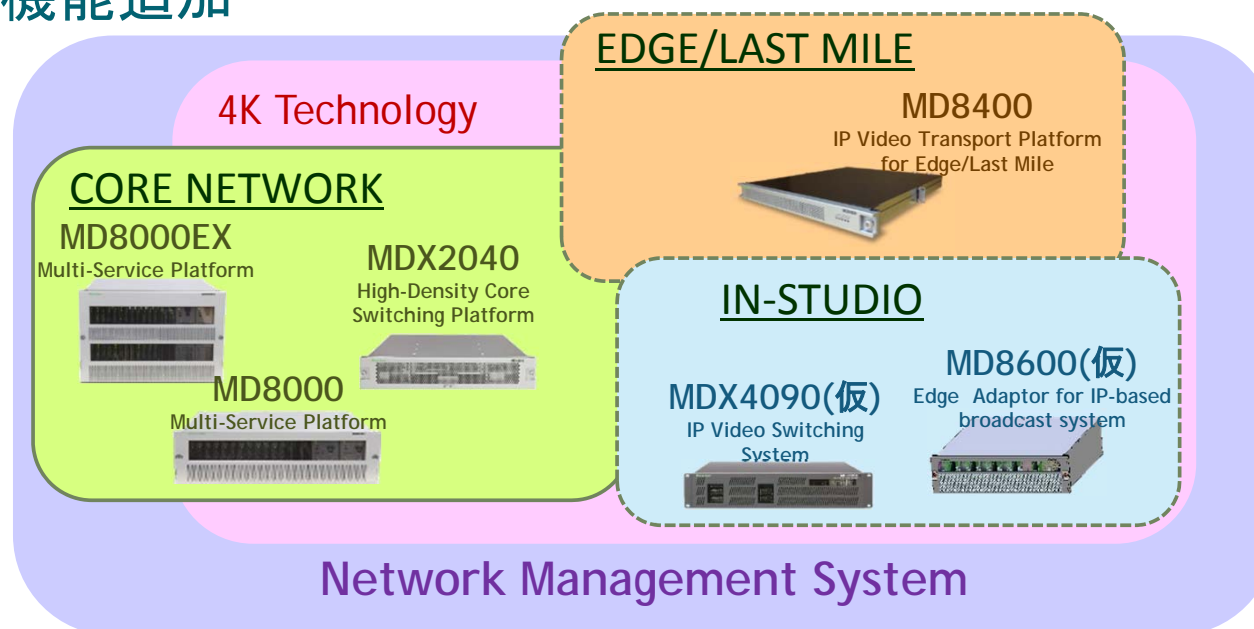
'16/03期(計画) 20%



研究開発活動

■ MD8000プラットフォームで繋がる製品群の開発と市場投入

- エッジ/ラストマイル市場: MD8400
- 新しいIPビデオルータ: MDX4090(仮)
- 放送局内ネットワーク向け装置: MD8600(仮)
- 新しいNetwork Management System (ソフトウェア)
- 4K対応機能追加



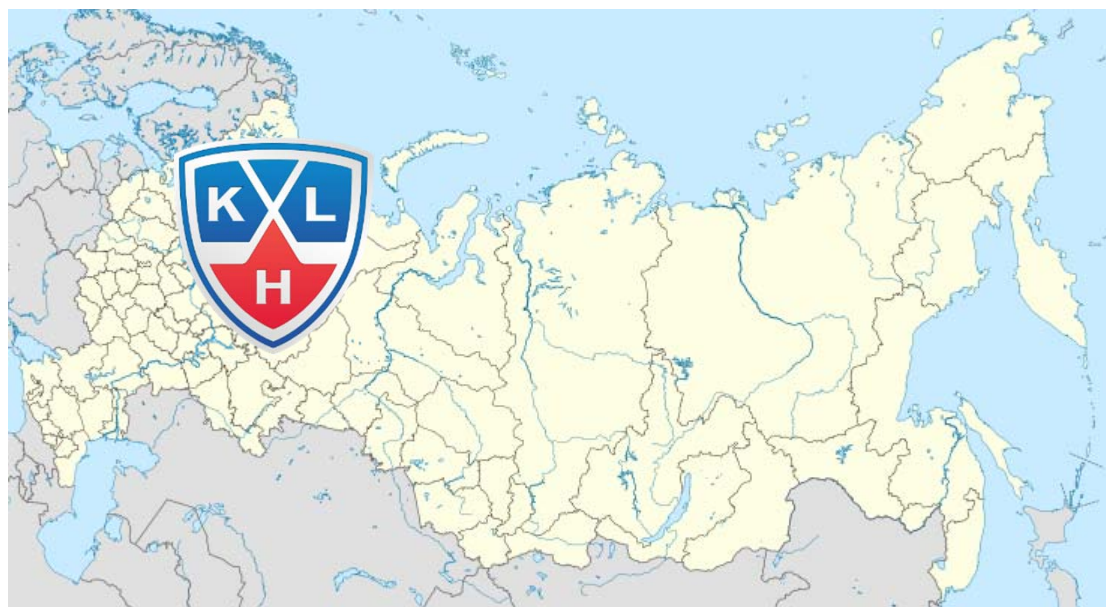
オーストラリア・北米市場 現状維持を見込む

- MD8000の継続オーダー
- 顧客の新規ビジネス獲得に伴う新規プロジェクト
- インストールベース拡大に伴う保守料収入
- エッジ/ラストマイル市場向けMD8400の販売



欧州市場 新展開の開始

- ロシアのアイスホッケーリーグ放送ネットワーク向けMD8000プラットフォーム
 - ロシアの大手通信事業者から受注
 - 2018年FIFAワールドカップロシア大会を見据える
- UEFA EURO2016
フランス大会
- 欧州市場の新展開
 - 新拠点の開設も視野に



日本およびアジア市場

■ 国内ケーブルTVネットワーク

- 大手ケーブルTVの配信ネットワーク
- 4Kを見据えた投資

■ 国内放送局内ネットワーク

- 局内IP化に向けて具体的な商談の開始
- 実際の納入・構築は2016年以降

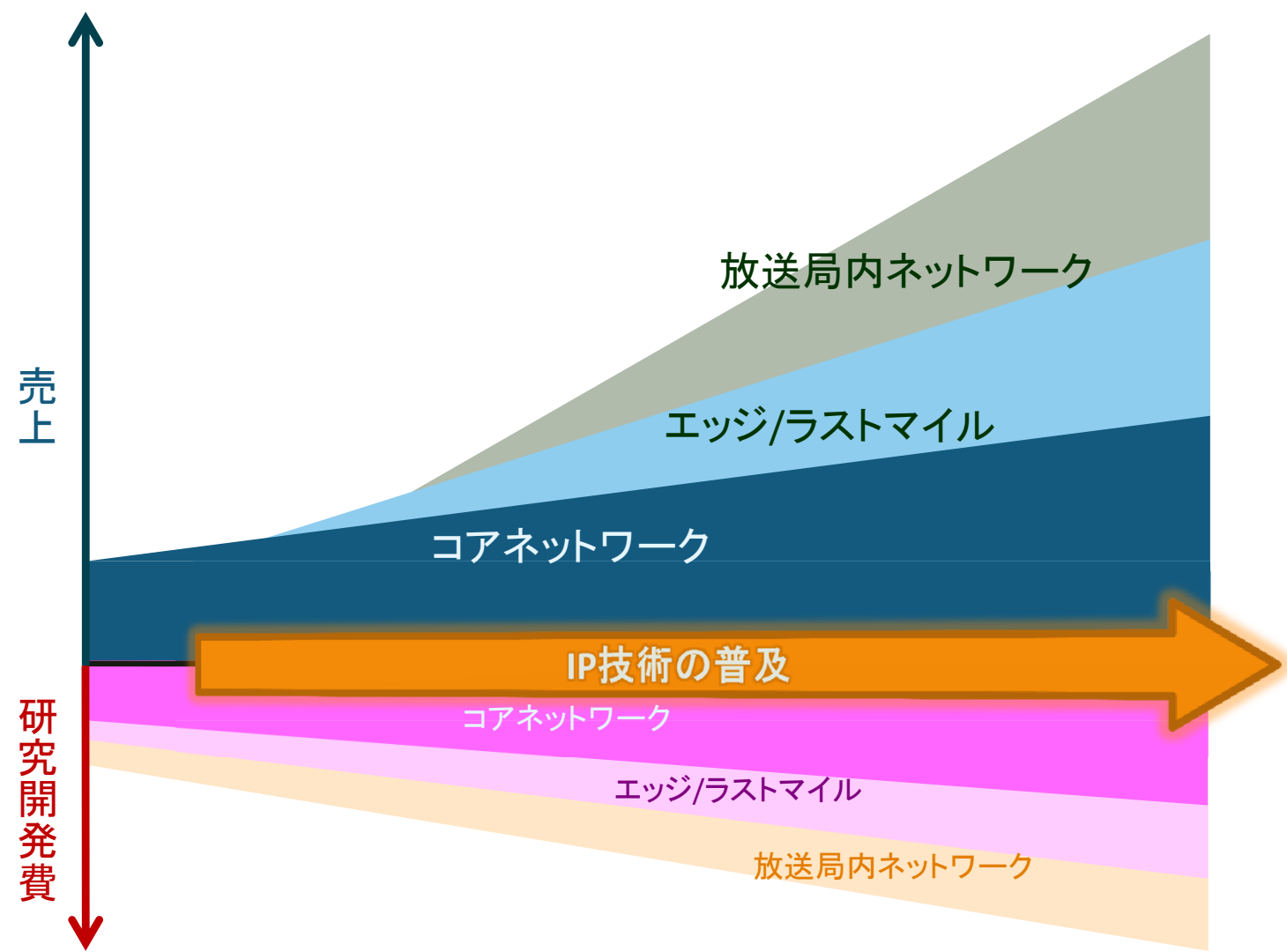
■ 韓国

- 前年に予定していた大手放送局向け案件が顧客の事情により遅れ、2015年夏の予定

2016年3月期のマイルストーン

	北米・オーストラリア	欧州	日本	アジア
映像伝送 ネットワーク	[MD8000] 継続および新規 プロジェクトへの 納入	[MD8000] ロシアなど新顧客 の獲得	[MD8000] ケーブルTVネット ワークへのシステ ム納入	[MD8000] 韓国の放送局 ネットワークへの 納入
	[MD8400] エッジ/ラストマイ ル市場で新規採 用	[MD8000] UEFA EURO2016フラ ンス大会で採用		[MD8000] [MD8400] 韓国以外の市場 調査とチャネル構 築
放送局内 ネットワーク のIP化	市場調査 チャネル構築	市場調査 チャネル構築	具体的商談の獲得 新製品の開発	市場調査

新たな成長ステージを目指す IP技術をベースに展開を加速



ありがとうございました

株式会社メディアグローバルリンクス

<http://www.medialinks.co.jp>

Tel 044-589-3440

Fax 044-589-3441

E-mail ir@medialinks.co.jp

MEDIA LINKS®